

2011 年度秋期公開講座

「日本人は英語が苦手」を 科学する

日時：2011年10月14日(金)16:40 ~ 18:10

場所：1号館小ホール(R171)

講師：投野 由紀夫先生

(東京外国語大学教授、ランカスター大学 Ph.D.(コーパス言語学))

お問合せ：鈴木研究室 j_suzuki@kufs.ac.jp

講演要旨：

1. 日本人は英語が苦手？

日本人の英語はアジア圏の他の国と比べてもあまりお世辞にも高いとはいえない。よく中高6年間勉強しても全然しゃべれない、というようなことを言われる。皆さんは外国語大学の学生だからきっと外国語教育には興味があるだろう。日本人はなぜ英語ができないのだと思うだろうか？

2. 実態を把握する

英語を自由自在に操るネイティブ・スピーカー。彼らは実際にどのように英語を使いこなしているのだろうか？まずは「敵の正体」を知らなければならない。ここでは私の専門のコーパス言語学の方法を用いてネイティブの英語を解剖してみよう。

3. 日本人はどう英語を使っている？

次の問題は、日本人がどのように英語を使っているかを科学的に調査できるか、ということに触れる。皆さんならどのような方法で行うだろうか？考えてみて欲しい。私はコーパス言語学の手法を駆使して、日本人の英語使用の特徴を分析してきた。そこからわかるいろいろな特徴をご紹介します。

4. では何が必要？

ネイティブの英語の使い方と日本人の英語の特徴がわかってきたら、どうしたらいいだろうか？皆さんなりに方法を考えてみよう。私は自分なりにいろいろな英語教材を作ってきた。その一端をご紹介します。

5. 最後に

おしまいに皆さんにこういうことを考えたり研究したりすることを勧めたい。きっと皆さんの中には素晴らしいアイデアや才能をもっている人が隠れている。それを引き出すのが大学という勉強や研究の場であろう。話を聞いて、もう少し勉強してみたい、と思っただけであれば幸いである。

経歴: 東京学芸大学大学院教育学研究科英語教育学専攻修士課程修了。ランカスター大学言語学科大学院博士課程修了。東京学芸大学教育学部 講師、明海大学外国語学部准教授・教授を経て現職。

専門: コーパス言語学、第二言語語彙習得、英語辞書学。NHK テレビ英会話講師も過去に数回務め「コーパスくん」というキャラクターで言語学の専門用語だった「コーパス」という用語を一般に広める。英語コーパス学会理事。

業績: 『英語語彙の指導マニュアル』(大修館書店)、『コーパス練習帳』(NHK 出版)、『エースクラウン英和辞典』(三省堂)、『コーパス超入門』(小学館)など、著書や論文も多数。